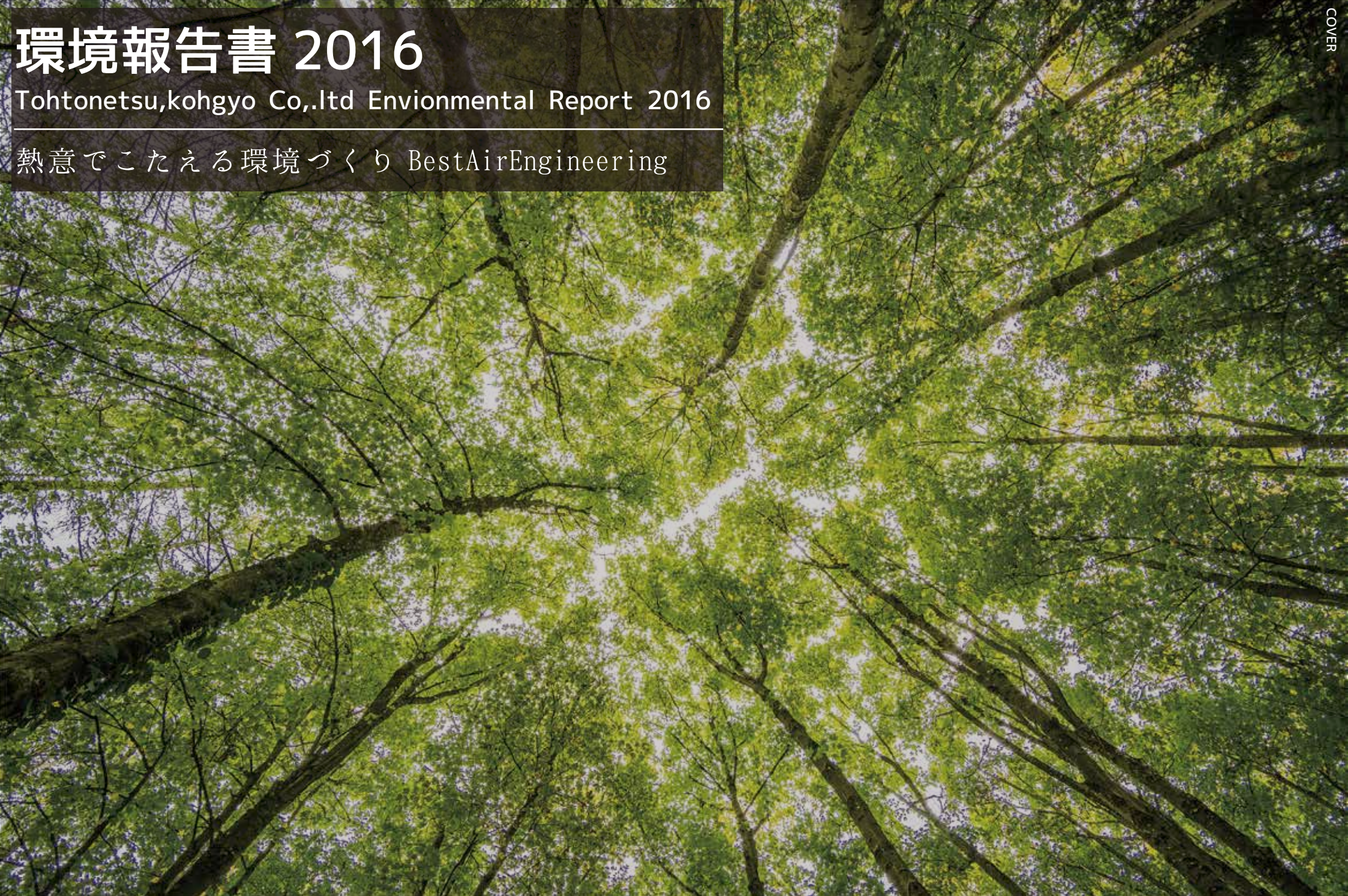


環境報告書 2016

Tohtonetsu, kohgyo Co., Ltd Environmental Report 2016

熱意でこたえる環境づくり BestAirEngineering



目次

I：会社概要	1
II：環境方針	2
III：環境活動組織	3
IV：環境目標	4
V：活動結果	5
VI：監視測定項目	6
VII：法規制遵守	7



東都熱工業株式会社

- ・ 本社

神奈川県川崎市川崎区富士見 2-5-6

- ・ 九州支店

福岡県福岡市博多区博多駅南 1-3-6

第三博多偕成ビル 10 階

- ・ 従業員数 50 名

- ・ 業務内容

空気調和設備工事、給排水衛生工事、
電気設備工事等の設計・施工

- ・ 建設業許可

管工事 : 大臣認可 (特 -24) 第 24794 号

電気工事 : 大臣認可 (般 -24) 第 24794 号

- ・ 売上高

平成 26 年度 1,813,607,970 円

平成 27 年度 2,219,326,443 円

平成 28 年度 2,304,588,400 円



環境理念

東都熱工業株式会社は、空調・衛生・電気工事等の事業活動において、全社員が環境問題に真摯に取り組む、社内及び工事作業所における業務を通じて、環境への影響に配慮し、環境の保全に努めることにより、社会の持続的発展に貢献する

環境指針

環境理念を実現するため、環境管理システムを構築し、継続的改善を図り、積極的に環境保全活動を推進する。

事業活動を通じて、環境側面に関係する法規制及び会社が同意したその他の要求事項を順守し、さらに環境目的・目標を明確にし、定期的に見直しを行いながら、これらを積極的に推進し、実現させる。

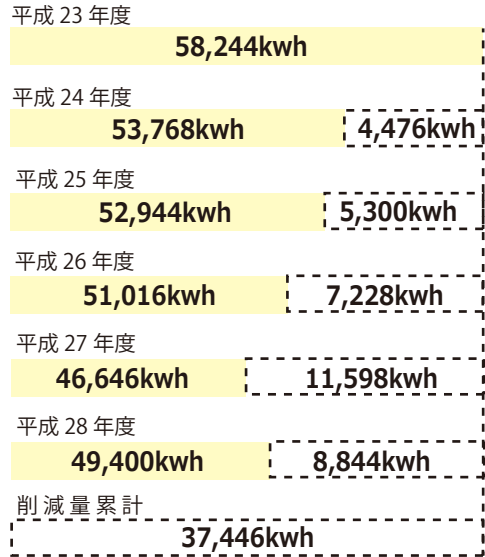
顧客には、環境に配慮した省資源、省エネルギーの提案を積極的に行い、作業所では協力会社と連携し、廃棄物の発生抑制及びリサイクルなど適切な管理を行い、環境汚染の予防及び環境負荷の低減に努める。



部門	環境目標	活動結果
総務経理	電気消費量の 15% 削減 (平成 23 年度比)	<p>！目標達成！ (年間 15.2% の削減。目標は達成したが、残念ながら前年の最低使用量を更新するに至らなかった。)</p>
営業	提案技術・知識の修得 (年間 5 件)	<p>！目標達成！ (年間 7 件の講習に参加。新製品や補助金の情報を入手し、積極的に営業活動に活用。)</p>
積算	コストダウンの提案 (年間 7 件)	<p>！目標達成！ (年間 7 件の提案となった。1 月 1 件を地道に継続し、目標到達へと至った。)</p>
設計	省エネルギー設計の提案 (省エネ率 25% 以上)	<p>！目標達成！ (省エネ効果の高い機器・器具を提案に採用。トータルで 32.5% 減を達成した。)</p>
購買	発注時間の短縮	<p>！目標達成！ (特殊な引合経緯を経た場合など、短縮の難しい特殊物件もあり、苦しい活動となった。)</p>
工事	V E・C D の提案	<p>！目標達成！ (配管材の削減や部材・工法の変更、工期の短縮化など 7 件の VE 提案達成した。)</p>
R S	保守契約の強化	<p>！目標未達成！ (保守新規物件がわずかに目標へ届かず、目標未達となった。次年度は契約数の増加をめざし、積極的な提案を実施予定。)</p>
九州支店	自主検査・社内検査の徹底	<p>！目標達成！ (19 現場全てで社内検査の実施達成。今後も自主的な社内検査を取り組み、不良・手直しの減少に努める。)</p>

環境活動の結果

電気使用量の削減 (H23年度比)



▼総削減量をCO2に換算すると
 $16,984(\text{kwh}) \times 0.00053(\text{t-CO}_2/\text{kwh})$
CO2 = 19.84638t

環境省発表 電気事業者別排出係数より
 東京電力 CO2 排出係数 0.000530 (t-CO2/kwh)

▼算出したCO2を杉の木に換算すると
 $9001.52\text{kg} \div 14\text{kg/本}$ **杉の木 = 1,418本**

環境省 / 林野庁
 「地球温暖化対策のための緑の吸収源対策」より、
 杉の木 1本あたりのCO2吸収量は14kg

▼今年度までの結果

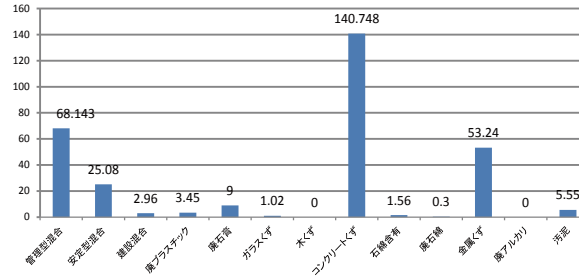
今年度までの活動で杉の木

およそ **1418本**、約 **17,016㎡**
 の二酸化炭素が削減できました。

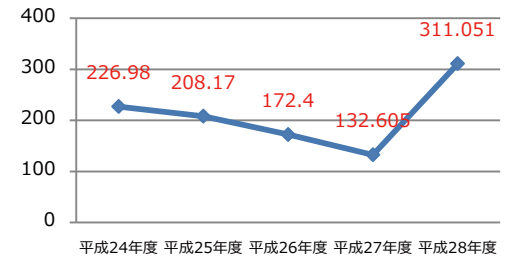


産業廃棄物の適正処理

産業廃棄物 品目別排出量 (平成 28 年度)(t)



産業廃棄物 年間排出量 (t)



昨年度のマニフェスト交付数は 160 枚となりました。昨年と比較すると年間排出量が 2.3 倍まで増加しておりますが、左表を見ると、コンクリートくずの増加による重量増加が影響しているものと分かります。継続して取り組んでいる蛍光灯やダンボールなどのリサイクルに加えて、法令改訂に合わせて、産業廃棄物の分別ルールやリサイクル可能な産業廃棄物の見直し・洗い出しを行い、課題をクリアしていきたいと考えます。

事業系一般廃棄物の低減



▼総削減量をCO2に換算すると

$33\text{kg} \times 0.34(\text{kg-CO}_2/\text{kg})$
CO2 = 11.22 kg

環境省発表 既存の環境家計簿の現状についてより
 一般廃棄物可燃ごみ 0.34 (t-CO2/kwh)

▼CO2を杉の木に換算すると

$31.62\text{kg} \div 14\text{kg/本}$ **杉の木 = 0.8本**

▼今年度までの結果

今年度までの活動で杉の木
 およそ **0.8本分**、約 **9.6㎡**
 の二酸化炭素が削減できました。

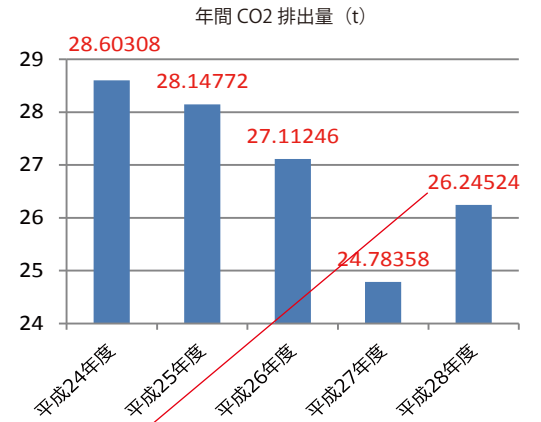


39kg の削減

6kg の増加

CO2 総排出量の推移

当社 環境活動のうち、監視・測定のみ (電気消費量・一般ゴミの焼却) CO2 排出量を集計すると右図のような結果となります。環境活動元年の平成 24 年と比較すると 2.36 トン以上の削減が達成されています。社内の節電・節約の意識は十分に浸透し、会長、社長から一般社員までが活動に理解し、協力してくれています。



27 トンは、ガソリン車が地球の赤道を 3 周した時に排出される二酸化炭素とほとんど同じ量になります。

法律名	環境法規制	活動結果
建設リサイクル法	新築：床面積 500 m ² 以上、修繕 / 模様替：金額 1 億円、解体：床面積 80 m ² 以上に該当する工事は対象品目に対して分別解体を実施する。	順 守
フロン回収破壊法	特定製品のフロン排出・放出抑制措置を実施する。	順 守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物・特別管理産業廃棄物に関して、委託契約・適正保管・マニフェストによる適切な処理運用等を実施する。	順 守
大気汚染防止法	大気汚染防止法に該当する特定建築物の解体等作業を行う場合においては、事前調査・作業計画の作成届出を実施する。	順 守
石綿障害予防規則	石綿障害予防規則に該当する特定建築物の解体等作業を行う場合においては、適切な届出・適した作業環境の形成等を実施する。	順 守
労働安全衛生法	当社が請け負う全ての工事において労働安全衛生法に基づき、書類管理・作業環境・官公庁届出を実施する	順 守
消防法	当社が請け負う全ての工事において消防法に基づき、書類管理・官公庁届出を実施する	順 守
省エネルギー法	300 m ² 以上の建築物の工事においては、特定建築物に係る届出の提出を実施する。	順 守

